

② 株式会社丸国林業

いつの時代も生きてゆくには『人間力!』。企業にとって人を育てることは将来の大きな財産になると思っています。

努力と知恵を絞り、奈良県企業の人と人のつながりを大切に多くの企業、従業員の方の成長・育成に携わっていきたいと考えています。

一般社団法人 奈良経済産業協会 会長
株式会社 丸国林業 取締役会長

ひら こし くに かず
平 越 國 和 氏



2023年8月1日、同社本社にてインタビュー

▶ 2023年（令和5年）7月、奈良経済産業協会の会長に就任

——この度会長に就任された奈良経済産業協会の概要や事業内容について教えてください。

奈良経済産業協会（以下、「当協会」という）は、平成24年11月に、製造業を中心とした経済団体である「社団法人奈良工業会」と、経営・労務問題を扱う経済団体である「奈良県経営者協会」が統合して、総合経済団体「社団法人奈良経済産業協会」としてスタートしました。

県下全域で全産業を対象に「モノづくり・人材育成」と「経営・労務問題」を2本柱に支援活動を展開しており、奈良県の経済・産業の振興を図り、活力ある地域社会の進展を目指して、様々な事業を実施しています。

“企業は人なり”を常々標榜する中、“人材の育成・活躍なくして企業発展はない”と考えてい

ます。そのため、企業発展を担い経営課題を解決していける人材の確保や育成・定着に最も注力して事業を展開しています。特に当協会では、新規卒卒者や高齢者・外国人労働者などの多様な人材ごとに、各機関と連携しながら、会員各社が個々に抱える人材開発支援を継続的に行っています。

また、経営資源に限りのある中小企業において、一社単独では十分な体制構築が難しい人材育成支援として、階層別・職種別・テーマ別に、座学のみならず現場研修・参加者討議等の実践的な演習を多数取り入れながら幅広い教育訓練を提供し、人材育成による企業の活性化に取り組んでいます。

——会長就任のご挨拶にあった「奈良発のイノベーションを創造してゆく」とはどういうことでしょうか。

現在は、経済の広域化・グローバル化・多様化が急速に進展する中、これまで当たり前だったこ

とが当たり前ではない、不透明で先行きが見通せない時代です。5年後、10年後も現状の業態や製品・サービスが必要とされているのかは、誰にもわかりません。時代の流れと共に求められるものが多様化する中、我々事業者は経済・社会の環境の変化に迅速に対応していかなければなりません。

ここでいう、イノベーションとは狭義の科学技術開発だけではありません。当協会は色々な産業事業者に参画いただいているため、業種や企業ごとに異なる多様な技術やノウハウがあります。奈良県で頑張っている各社が同業種・異業種を問わず、経営者・管理者・担当者の各層で交流、連携を通じ互いに理解して、補完し合える関係を構築し、新しい事業・製品・サービスの創出へとつなげ、それを拡大・充実させていくことで、奈良県を元気にする“奈良発のイノベーション”を創造していきたいと考えています。



—— 地域産業や地域社会発展に向けて行政機関等との関わりについてお聞かせください。

当協会の会員企業は450社にのぼり、元気のある企業が数多くあります。ただ、会員企業の多くは経営資源に限りがある中小企業ですので、新規事業開発や新製品開発等を一社が単独で取組むには限界があります。そのため、教育研究機関や行政機関、金融機関等と積極的に交流の機会を持ち、会員企業が持っているシーズやネットワーク等を

活用して、各企業一層の発展を図り、地域産業・地域社会の発展に取り組んでいきたいと思っています。各企業が切磋琢磨し、今以上に頑張っていくことは当然ですが、地域の産業を支えて一層発展させていくためには、行政からのサポートも不可欠だと考えています。

基盤となる既存産業・事業の育成・拡充と共に、新たに柱となる事業の創出・教育・開発・販売などの各フェーズにおいて、行政よりご支援をいただきながら産学官金が連携して進めていきたいと思っています。

▶ 奈良経済産業協会で精力的に活動することができるのも本業を安心して次の世代に引き継げたことが大きい

—— 本業である株式会社丸国林業の歩みや概要、会長のご経歴について教えてください。

1960年（昭和35年）10月、私がまだ小学5年生（10歳）だった頃、父國輝が先祖代々培った林業経営を基盤に製材業や木材の販売を営む「丸国林業」を創業し、1973年（昭和48年）に株式会社丸国林業を設立しました。

創業当時は黒滝村の山守さんと山林管理の仕事に従事していた20代・30代の若者7～8人と共に香芝町（現香芝市）で製材工場を立ち上げ、県内の原木市場に出る杉や檜を製材して近隣の工務店に販売していました。その後、大手ハウスメーカーとの取引が始まり、住宅専門工場に納材するようになりました。

1992年（平成4年）には天理市福住町に天理配送センターを開設し、今では東北から九州までの広範囲に安定して資材の供給ができるようになりました。2014年（平成26年）には、これまでのノウハウを活用し熟練技師による高品質な製品供給を行うべく、木材調達から出荷まで自社一貫体制の住宅用内壁・間仕切りパネル製造工場をスタートさせました。

創業当初は10人足らずでスタートした当社も、

今では 60 名近い従業員が支えてくれています。

私はというと、中学時代は水泳、高校・大学時代は柔道と学生時代はスポーツに打ち込んでおりました。大学は東京の慶応義塾大学、住まいは東京都文京区に今もある奈良県奨学会が運営する養徳学舎という寮に入って 4 年間を過ごしました。

大学卒業後は、当社の取引先であった大和ハウス工業に就職し、約 3 年間は営業職、その後 3 年間は購買（仕入）担当として勤務しました。その後 1977 年に大和ハウス工業を辞して当社に入社しました。

私は昔から「井の中の蛙」にはならないように、可能な限り世の中の色々な組織の勉強をしたいと考え、これまで積極的に様々な団体の役を引き受けてきました。例えば、地元警察や市役所委員会の委員、商工会の理事や会長などです。また奉仕団体のライオンズクラブにも入会しましたし、納税協会や自治会の役員、大学 OB 会の世話役等、様々な団体で活動させていただきました。



私の好奇心旺盛な性格も相まって、世間の事をたくさん知る機会になり、幅広い人脈もできました。仕事やボランティアをするうえにおいて、とても勉強になりましたし、この経験は私の財産になっています。同時に、私が浅学菲才の身であることを痛感する機会でもありました。この頃から「もっと世の中の事を勉強しないとイケない」と強く思うようになりましたね。



株式会社丸国林業本社（奈良県香芝市別所 5 番地）

—— 御社が今の姿に成長してこられた原動力や強みは何ですか。

当社のような規模、事業形態では、まだまだ世間のニーズに十分貢献できるところまでは成長しておりませんが、企業経営は世の中の変化や顧客の欲求によって大きく変動し、常に時代の要求するものに応えていかなければなりません。そして経営環境の変化にもついていかなければなりません。毎日が薄氷を踏む思いで経営にあたっておりますが、常にお客様志向で、お客様に満足を届けることを忘れてはならないとの思いで日々営業活動をしています。

令和 3 年に息子の國康に社長を引き継ぎました。現社長は大学卒業後、東京の大手建材問屋に約 10 年間勤務していました。その間、海外勤務（中国）等も経験して当社に入社しました。私は約 6 年間、息子は約 10 年間、他社での経験から多くを学び、それを企業経営に活かしています。

事業継承については、政府の事業継承制度を利用することで、資本の移動がうまく出来ました。その節は、奈良県地域産業振興センターや地元金融機関には大変お世話になりました。

私が父から会社を継承したのは 41 歳の時で、今回バトンタッチした息子も 41 歳なのでほとんど時を同じくしています。私が父から事業を継承した時、父は現業をほとんど私に任せきりで会社にはいないことが多かったので、仕事がやり易かったのを覚えています。その経験から、会長になった今も会社には顔を出しますが、社業は社長以下

役員に任せきりで、自身は外部の経済団体や種々所属団体の仕事に取り組んでいます。そのように私は会長職としての仕事をする事で、社長と大きく意見が食い違うことや言い合いの喧嘩をすることはほとんどありません。息子はじっくり考えるタイプなので、私の意見もひと通り聞いて、社長として会社のために何が一番大切か、色々な視点で物事を考えているようです。

そんな社長だからこそ、私は安心して会社を任せることができたのだと思っています。

▶時代が移り変わっても「お客さまの喜ぶ顔がみたい」は変わらない

—— 御社の企業理念について伺います。

当社の企業理念は昔、経理総務を担当していた弟と2人で「企業理念作成セミナー」に参加したことをきっかけに考えたものです。

当社の企業理念で重要な点は3つ。1番目は「信頼のある企業を目指します」ということ。2番目は、社員が共に学び成長することで「社会に貢献できる企業を目指します」ということ。3番目は、先を見据えないといけないことから「お客様のニーズを先取りし企業の革新に挑戦します」ということです。

作成してから30年以上経っていますが、陳腐化していません。企業理念は時代とともにどんどん変えていったほうがいいという意見もありますが、今の時代でも大切な要素ですから続けています。

当社では、毎年決算の翌月に全従業員を集めて会社の目標や方針、経営計画を発表する経営計画発表会を開催しています。そこでは、従業員によ

る各部門の発表や前年度の優秀な改善提案の表彰なども行い、課題の共有化や今後一年のベクトル合わせをしています。社員研修も兼ねており、年に一度の大切なイベントとなっていますが、そこではいつも社員全員で企業理念を唱和します。



毎年開催されている経営計画発表会の様子

—— 2021年には創業60周年を迎えられました。

おかげさまで、2021年10月に創業60周年を迎えることができました。これまで歩んできた道を振り返ると業界は凄まじいほどの変化を遂げています。時代の変化の潮流に乗ってこれからもますます多岐にわたる変化を余儀なくされるでしょう。

しかし、どのような時代になっても基本は変わりません。今お客様が何を求めておられるか、当社にどんなことを期待されているかを常に想いをめぐらせ、アンテナを張り、想像し、全社員「お客様の喜ぶ顔がみたい」がために、お客様第一で一丸となって日々業務に邁進しています。



- 一. 私達は至誠、努力、実行を旨とし、お客様に対し信頼のある企業を目指します。
- 一. 私達は全員一丸となって共に学び共に成長し、社会に貢献できる企業を目指します。
- 一. 私達はお客様のニーズを先取りし企業の革新に挑戦します。

▶ 当社の一番の財産は「従業員」であり、
従業員がいるからこそ、これからも丸
国林業があり続けられる

—— 企業経営についてどのようなお考えをお持ちか教えてください。

時代が目まぐるしく変遷しているなか、時代に乗り遅れることは企業経営にとっては大きなマイナスです。旧態依然とした考え方だけでは、泥船に乗っているようなものです。時には、新しい時代の船に乗り換えていかなければなりません。

今や IT から DX、生成 AI といったデジタルの時代ですから、それらに対しても乗り遅れてはいけないと思っています。しかし、ただデジタルだけではダメだと思っています。不易流行という言葉がありますが、不易のアナログ部分も大事にしなければなりません。アナログ部分とは、人間関係を構築することだと思っています。直接顔を合わせて面談する、お客さんにかわいがってもらうなど、人と人のつながりを重ねていくことが非常に大事でしょうね。どんな時代がきてもコンピューターですべてはできないと思います。

だからこそ、「人」を育てていかなければ生き残れないと思っています。

—— 御社では従業員の人材育成に非常に力を入れておられますね。

はい、当社は「社員を大事にする」ことをモツ



トーにしています。

私の考えですが、多くの社員は家へ帰ったら家長です。社員は家族の生活を背負って働いています。親や配偶者がいる社員もいれば子供がいる社員もいますので、家庭を守ってもらうためにも、会社は社員を大切にしなければなりません。そして会社では、本人の能力の限りを尽くして働いてもらいたいと思っています。従業員に頑張ってもらい、頑張った分の稼ぎを家に持って帰ってもらいたいという思いが強いですね。

当社でも、以前は新卒者の採用に力を入れてい

居心地が良く、安心して働ける環境づくり



- 45歳以上は毎年人間ドックを受診。病気の早期発見や早期治療を促しています（上限3万円まで会社負担）
- 社内面談窓口の設置（希望者はいつでも面談が受けられます）
- 働く環境について定期的に意見交換できる改善提案の場を提供
- 現場の安全管理の徹底と対策の即時実施
- ボウリング大会や綱引き大会などのレクリエーション活動
- 社員の家族も参加できる社員旅行
- 誕生日プレゼント授与
- 人権啓発標語を従業員から募集（優秀作品には表彰があります）等

ましたが、なかなか定着しませんでした。そこで、自身の経験から社会での経験と、家族を守る責任感や仕事に対する強い気持ちを持っている人を雇いたいと考え、現在は中途採用も積極的に行っています。1日の大半、また人生の大半を当社で過ごしてもらうことになりますので、当社で働いていることが、会社だけでなく、その人自身や家庭にもプラスに働くことがいいと考えています。安い給料で簡単な仕事だけをさせるとか、日々時間が過ぎるのを待つだけのような充実感のない仕事をさせることは、経営者として絶対にさせたくないと思っています。

人材育成に力を入れているのも、従業員のモチベーションややりがいを高めてより働く環境をよくしてもらいたいと思うからです。時代が変わっても「人と人のつながり」、「信頼関係の構築」など、「人」だからこそできることが、この先ますます重要になってくるでしょう。だからこそ「人を育てる」ことが大事で、将来必ずそれが当社の財産となります。

奈良経済産業協会でも人材育成の一環として様々な研修会を行っています。奈良県の多くの企業や大切な従業員の方の育成・成長にこのような形で関わることができ幸せなことであると同時に、責任重大だと気が引き締まる思いです。

——「健康経営優良法人 2023」を取得されました。

当社は、従業員が心身共に健康であることから、健康増進に積極的に取り組むことで従業員の心身を育んでいこうと考えています。具体的には、当社では年に数回、全従業員から業務内容に関する改善提案を募り、現場の生の声を聴くようにしています。中でも就業環境に関わるものは、すぐに委員会で精査し採用するなど、就業環境の改善に積極的に取り組んでいます。職場の居心地を良くすることで、従業員全員が心身ともに豊かになり、最高のパフォーマンスを発揮できるように努めています。

ます。そうすることで最終的に顧客満足の上昇や社会貢献へ繋がっていくと信じています。その取り組みが認められ、経済産業省が制定した健康経営優良法人認定制度※において「健康経営優良法人 2023」の認定を受けました。2019 年からこれまでに計 4 回認定を取得しています。

※健康経営優良法人とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。



▶ 可能な限り努力と知恵を絞って奈良県の発展に寄与するために、まだまだ勉強の真最中

—— これからの夢や想いをお聞かせください。

昨今のロシアによるウクライナ侵攻を機に世界情勢が混乱し、原材料価格やエネルギー価格の高騰、人手不足と人件費の上昇など企業を取り巻く環境は厳しい状況にあります。経済産業協会ではこれら様々な課題に対して会員企業の実態を把握し、多様なニーズに寄り添いながら事業を展開していきたいと考えています。可能な限り努力と知恵を絞り、真摯に取り組んでいく所存です。会員企業の皆様には、当協会に「入会してよかった」、「役にたった」と思っていたいただけるような組織でありたいと考えています。

会社に関しては、堅実な事業規模の拡大と社員教育の充実で有能な社員を育て、お客様の役に立つ企業として存在感を発揮させたいと思います。住宅や建設資材の販売に留まらず、お客様の多様なニーズに対応できるよう視野を広く持ち時代と共に変遷していきたいと考えています。



私個人としては、今会長職をお引き受けしている奈良経済産業協会と香芝市商工会の発展に寄与することはもちろんですが、経済活動とは別の事で申しますと、日本の歴史的な名所や文化遺産、まだ知らない島々などを巡ってみたいと思っています。また、奈良商工会議所主催の奈良まほろばソムリエ検定が、「奈良通1級」の合格止まりになっているので、上位資格の「奈良まほろばソムリエ」に挑戦したいと考えています。まだまだ好奇心旺盛で、色々な事を知りたいと、勉強の真最中です。

——若いビジネスパーソンへメッセージをお願いします。

我々の時代と違って、今の若い人は学生時代しっかりと勉学を積んだ人が多いと思います。IT技術の進歩で目まぐるしく変化するこの時代において、自分を見失うことなく、ある時はアナログの世界に生きて欲しいと思います。いつの時代も生きてゆくには『人間力』が必要となります。人と交わることでお互いに切磋琢磨し、社会性を身につけて欲しいと願っていますし、企業人としては、「誠意」「熱意」「創意」この3つの意を常に頭において行動してもらいたいと思います。

(聞き手・文責：清原香織)

●プロフィール 平越 國和 氏

■主な経歴

1968年3月 奈良県立畝傍高等学校卒業
 1972年3月 慶応義塾大学 法学部卒業
 1972年4月 大和ハウス工業株式会社 入社
 1977年10月 大和ハウス工業株式会社 退社
 1977年11月 株式会社丸国林業 入社
 1988年7月 同社 代表取締役専務就任
 1990年10月 同社 代表取締役社長就任
 2015年5月 香芝市商工会会長就任
 2019年6月 公益社団法人葛城納税協会副会長就任
 2021年5月 奈良県商工会連合会副会長就任
 2021年6月 同社 取締役会長就任
 2023年7月 一般社団法人奈良経済産業協会会長就任
 現在に至る

■座右の銘、好きな言葉

念ずれば花ひらく

■大事にしていること

人の話をよくきく。約束は守る。

■趣味

ゴルフ、旅行、音楽鑑賞

■私のモットー

信頼関係を築くこと

■好きな食べ物

寿司、中華料理（特に好き嫌いはありません）

■お勧めの本

ザ・ラスト・バンカー 西川善文回顧録

■私のストレス発散法

よく食べ、よく眠ること。体を動かすこと。

■奈良県内で好きな場所（よく訪問される場所）

明日香村、黒滝村、天川村

■株式会社丸国林業の概要

- ・本 社：奈良県香芝市別所5番地
- ・創 業：1960年（昭和35年）10月
- ・資本金：1,000万円
- ・社員数：57名
- ・事業内容：木材製品・新建材・住宅機器の販売、ゼネコン向専門工事、製材業、不動産業、造林業、EC事業等

■一般社団法人奈良経済産業協会の概要

- ・住 所：奈良県奈良市柏木町129-1
奈良県産業振興総合センター
- ・設 立：1955年（昭和30年）奈良県経営者協会設立
1986年（昭和61年）社団法人奈良工業会設立
2012年（平成24年）上記2団体統合総合経済団体「社団法人奈良経済産業協会」スタート
2013年（平成25年）一般社団法人移行に伴い名称変更
- ・会員数：450社
- ・事業内容：会員企業向けに経済・産業及び経営・労働関係の様々な課題に対し、人材の育成を通して多角的・多面的に支援を実施